

¥0

Free

No.11  
2016 年春号

祈りの交差点

善通寺から  
みえる世界遺産

# 散策 善通寺

ふる里の風景を歩く



空海の里を  
再発見する

特集

弥次喜多の

珍道中

必携の  
散策ガイド

道 寺 羅 茶 曼



弘田川

金倉川

天霧山

彌谷寺

曼荼羅寺道

榎湧 (永井の湧水)

金蔵寺

曼荼羅寺

鷺井神社

甲山寺

下湧

筆の山

ひょうたん池

出釈迦寺

市民集いの丘公園

香色山

赤門筋

善通寺駅

旧偕行社

我拝師山

善通寺

四国学院大学

二頭湧

禅定寺

赤レンガ

金毘羅燈籠

弥次喜多コース

大池

王墓山古墳

大麻山

地藏池

宮が尾古墳

野田院古墳

葵の瀧

龍王社

琴平駅

金刀比羅宮

琴平山 (象頭山)

善通寺市散策マップ

五岳山

天霧山

弥谷寺

善通寺

善通寺と丸亀平野（飯野山より）

## 弥次と喜多歩いた善通寺市

江戸時代後期、伊勢参りの旅をテーマにした滑稽本、東海道中膝栗毛で一世を風靡した十返舎一九は、続編で金毘羅参りを描きました（金毘羅参詣続膝栗毛）。当時、四国遍路と金毘羅参りは四国を代表する巡礼の旅でした。主人公の弥次郎兵衛と喜多八（続編では北八）は、金毘羅参りの後に、多度津街道をとって善通寺に立ち寄り、笑いを巻き起こします。街道沿いでは、当時の巡礼の様子がうかがえます。

# 弥次喜多の珍道中

## 弥次喜多コース

旅の手段が大きく変わった現在でも、江戸時代の巡礼の風景が見える善通寺市。善通寺市に残る弥次喜多珍道中の景色をめぐります。

コース  
紹介

弥次喜多が伝える笑いの風景とは・・・

弥次喜多コースの所要時間：4～5時間

地蔵池

生野町燈籠

善通寺赤門筋

総本山善通寺

曼荼羅寺

曼荼羅寺道

俳句茶屋





# 弥次喜多コース

金毘羅参詣続膝栗毛より



多度津街道始点

## ①地蔵池

金毘羅参詣を終えた弥次と北（喜多）。境内で若い女中と出会い、一緒に善通寺から弥谷寺へ参詣することにしました。道中、女中とその父親が大坂から来たことを知り、同じ宿に泊まる約束をしました。（円内は琴平町の多度津街道）



## ②善通寺赤門筋

一行は善通寺参詣を終え、門前の茶屋に入ります。弥次と北が酒と飯を注文すると、道連れの女中は茶碗で酒を飲みはじめ、女中が顔に似合わず大酒飲みであることに驚きます。



金毘羅燈籠



## ③曼荼羅寺

善通寺門前の茶屋の支払いが、なんと六百五十文もかかったことに驚きつつ、一行は曼荼羅寺に参詣し、さらに歩を進めます。



### ⑤曼荼羅寺道

曼荼羅寺を出た弥次北の一行は、足も疲れて弥谷寺麓の茶屋に止宿します。「殊に険難な山坂」と記された曼荼羅寺道は、2014年に国指定史跡讚岐遍路道に追加指定されました。県内では、根来寺道が同様に指定されました。



### ④旧伊予街道との交差点

吉原大池北側には、旧伊予街道（松山では丸亀街道という）が通り、江戸時代の主要街道の風情が感じられます。

### ⑥俳句茶屋（弥谷寺麓）

弥谷寺麓の茶屋に泊まった弥次は、女中のいる隣室を訪れますが、とんでもない結末が……。写真は弥谷寺麓の俳句茶屋です。





善通寺赤門

赤門筋



## 赤門筋再発見

# 祈りの交差点

### 遍路道と金毘羅街道

江戸時代、空海の徳にあやかりたいと願う大師信仰が庶民に広まると、人々はしこくへんろみちしるべ 四国遍路道指南というガイドブックを手に、全国から四国の空海ゆかりの地、八十八ヶ所を巡るようになりました。この本の中で、八十八ヶ所が初めて定められ、番号を付して一本道で結ばれたとも言われます。中でも、善通寺は空海誕生の地として古くから信仰を集めました。

一方、象頭山松尾寺の鎮守だった金毘羅神は、近世初頭より海難避けの神として信仰を集め、歴代の領主の庇護を受けました。江戸時代中期より、江戸や大坂で金比羅講

が組織され、金毘羅参りが流行しました。これにより、金毘羅宮（現、金刀比羅宮）を中心に放射状に伸びる金毘羅五街道が整備されました。大坂などから金毘羅船で到着した参詣客は丸亀街道を、西国からの参詣客は多度津街道を利用しました。



赤門

善通寺（金毘羅参詣名所図会）



善通寺は、遍路道と多度津街道という二つの巡礼路の交差点にあり、いずれの参詣客も訪れました（上中図）。同様のことは金毘羅宮にも見られ、金毘羅参詣道の絵図には善通寺が大きく描かれ、四国遍路道の絵図には金毘羅宮が目を引きまます（上右図）。このことは、道標に善通寺と金毘羅と一緒に記されていることからもうかがえます（写真右）。

続膝栗毛の中で、弥次と北が道連れの中の女中に酒を勧めた善通寺門前の茶屋が実在のものか否かは定かではありませんが、当時の善通寺の赤門筋の賑わいは容易に想像できます。旅人で賑わう通りが、善通寺正門の南大門ではなく、東の赤門前に生まれた理由は、当時南大門が再建されていなかったことに加え（左図）、多度津街道を行く金毘羅参詣の旅人にも便利だったのもしれません。

こんびらさんけいぞくひざくりげ  
**金毘羅参詣続膝栗毛**

江戸時代後期の戯作者、十返舎一九が描く東海道中膝栗毛では、江戸を発った主人公の弥次郎兵衛と喜多八（または北八）は、伊勢参りを終えて大坂に到着します。続編で、二人は旅の道連れに誘われ、金毘羅船で瀬戸内海の旅に出ます。金毘羅宮の参詣を終えると、もう一つの聖地、善通寺に立ち寄ります。多度津から丸亀に戻ると、二人はさらに宮嶋参詣に向かいます。



金毘羅と善通寺を記す石標（弥谷寺）

## 善通寺からみえる 世界遺産

# 巡礼の聖地

カンタベリー大聖堂、聖オーガスチン修道院、聖マーチン教会 旅物語



カンタベリー大聖堂



参詣道（正面が大聖堂）



カンタベリー物語博物館

## 聖地巡礼とカンタベリー物語

イギリスのカンタベリーは、6世紀末にローマ教皇からキリスト教布教の命を受けた聖オーガスチンが最初にイギリスに上陸した地です。聖オーガスチンは、当地のケント王エゼルバートの援助によりカンタベリー大聖堂を建造し、布教の根拠地としました。ノルマン征服後、ヘンリー2世に対立した大司教トマス・ベケットが殉教すると、様々な奇跡が起こり、聖ベケットの奇跡を求めて、多くの巡礼者がカンタベリーを訪れました。その様子は、14世紀の詩人、チョーサーのカンタベリー物語から窺えます。これはロンドンからカンタベ

リーへ巡礼する旅仲間が、旅の退屈しのぎに順番に話をしていく物語で、騎士、学僧、粉屋、バースの女など様々な身分や職業の旅人が話を披露します。当時の人々の生活や風習に溢れた物語です。

また、中世のキリスト教では、聖地に巡礼すると、贖宥（信徒が果たすべき罪の償いを軽減すること）が許される贖宥状が与えられ、人々はこれを求めて旅に出ました。

1988年、カンタベリー大聖堂、聖オーガスチン修道院と聖マーチン教会は、イギリスのキリスト教の原点を表すキリスト教建築物として世界遺産に登録されました。



## 聖地巡礼の旅物語

聖地の建造物や記念物はしばしば世界遺産に登録されてきました。独特な宗教活動が行なわれる巡礼路が世界遺産に登録された例もあります。聖地の巡礼路には、身分や職業を超えて様々な人々が集まり、その出会いから物語が生まれます。



善通寺の南大門と五重塔

往時を偲ばせる参詣道



竹藪を通る曼荼羅寺道

江戸時代の遍路

## 巡礼と江戸の旅

江戸時代、藩を超えた交通は各地の関所や口留番所くちどめによって監視され、庶民は自由に旅行できませんでした。しかし、伊勢参りなど有名社寺の参詣は認められたため、人々は通行手形を持って社寺参詣の旅に出ました。十返舎じっぺんしゃいっく一九の膝栗毛ひざくりげは、そんな旅人の物語です。旅先で目にする変わった方言や風習を笑いを交えて描くことで、旅の楽しみを江戸の人々に伝えました。旅先の出会いや触れあいの逸話は、カンタベリー物語に通じるところがあります。空海生誕地の善通寺市には、こうした旅の出会いの風景が残ります。

## 曼荼羅寺道

四国の遍路文化を世界遺産にしようとする活動が活発になっています。その一端として、善通寺近隣では、曼荼羅寺道の一部が国指定史跡讚岐遍路道に追加指定されました。多くの遍路道がアスファルト舗装され、あるいは竹藪に埋もれていく中、曼荼羅寺道には江戸の旅の風情を感じさせる古道の景観が残っています。ユネスコは、世界遺産登録を通じて、聖地の建物や巡礼路のみでなく、聖地を生みだした文化的景観の保存をめざしています。遍路道を育んだ農業景観と一体化する遍路道の整備が世界遺産登録への第一歩になるでしょう。

## 吉原大池さざなみ公園



### 身近な水辺の生き物

弥谷寺から曼荼羅寺に向かう曼荼羅寺道は、弥谷山の麓の吉原大池で、旧伊予街道と交差します。遍路道は大池の端をまわって薬師如来など七尊を祀る七仏薬師堂に向かいますが、旧伊予街道沿を東に進むと、吉原大池さざなみ公園に出ます。池の浅瀬に歩道を設け、湿地の動植物と身近に触れあう空間ができています。ここには、ソーセージのような穂をつけるガマが茂ります。ガマは雌花（ソーセージの部分）の上



七仏薬師



ガマ

に雄花をつけますが、雄花が飛ばす花粉には止血や利尿の薬効があると言われます。このガマの花粉の効果は因幡の白兔伝説で伝えられています。

## 季節がめぐる街の公園

### 庭園、ひとくちメモ (11)

庭園に自然の風景を取込んだものにイギリス風景式庭園があります。ルネサンス後、ヨーロッパの宮殿には幾何学模様の整形式庭園が造られました。17世紀になると、イギリスでは自然回帰思想とともに、絵画に描かれる風景を模した風景式庭園が造られるようになりました。

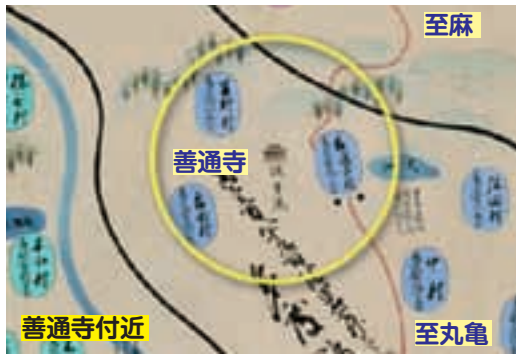
イギリスのブラウンは風景式庭園の代表的な造園家で、数多くの宮殿庭園を手がけました。風景を庭園に再現することは簡単ではありませんが、彼は「大きな湖の前に



ボウッド・ハウス

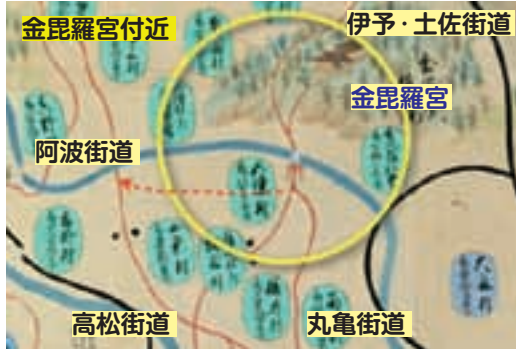
広がる草地のスロープと湖の前に置いた2, 3本の樹木、湖の背後の丘に広がる林、林の合間に見え隠れする寺院、これらを巧みに配置する（写真参照）ことによってイギリスの原風景の再現に成功しました。

## 比べてウォッチ！



### 遍路道と金毘羅街道

1838年完成の天保国絵図（讃岐国）では、善通寺付近には丸亀から麻や佐股へ向かう街道のみ（上図）が描かれていますが、金毘羅付近では金毘羅を中心に放射状の四街道（下図）が見てとれます。この絵図にない多度津街道は、多度津藩が天保年間に多度津港を改修した後に賑わいを見せたようです。また、遍路道も描かれていません。遍路道は、寺院や周囲の人々のお接待の心から草の根的に整備されたのでしょうか。



## 風景をたのしむまめ知識



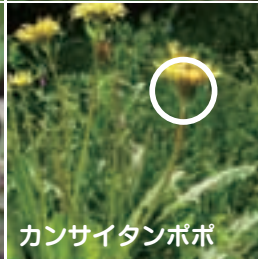
オオイヌノフグリ



セイヨウタンポポ



イヌノフグリ



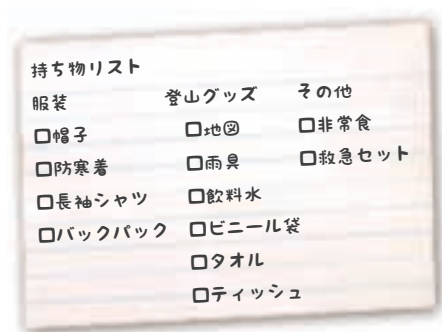
カンサイタンポポ

### 道端の草花にも保全が必要？

春の野道を飾る草花にタンポポやイヌノフグリがあります。ところが、現在どこでも見かけるオオイヌノフグリやセイヨウタンポポは、江戸時代には存在しませんでした。これらは明治以降にヨーロッパから侵入した帰化植物なのです。江戸時代には普通にあった在来種のイヌノフグリやカンサイタンポポは、大掛かりな道路や農地の改修によってすっかり少なくなりました。実は、こうした雑草も世界遺産などの文化的景観の構成要素として保全対象になります。

在来種のイヌノフグリは絶滅危惧植物に指定されています。また、セイヨウタンポポは花の台座の部分が反り返っている（○内）ことで区別されます。



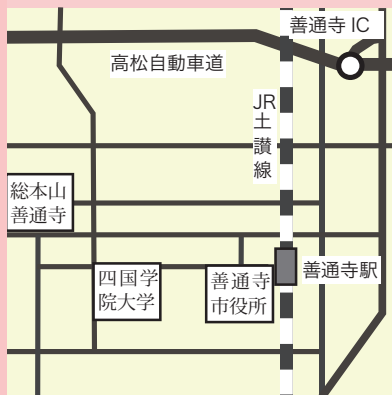


### 散策の心得

- ・履きなれたシューズで出かけよう。
- ・自分のペースでゆっくり歩こう。
- ・飲み物も忘れずに！
- ・車には十分注意しよう。
- ・ゴミは必ず持ち帰ろう。
- ・ペットの糞対策も忘れずに！



アクセス



バック・ナンバーは左のエロ「散策善通寺」より閲覧できます。  
<http://shigakuweb.jindo.com>

制作・お問い合わせ

四国学院大学・四学ウェブ  
 (shigakuweb@yahoo.co.jp)

制作協力

善通寺市役所土木都市計画課  
 (Tel. 63-6314)

参考文献

みちくさ遍路 2001

金毘羅参詣続膝栗毛

